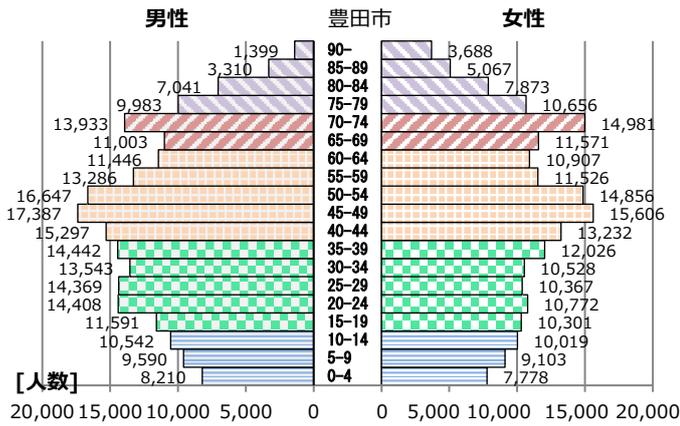


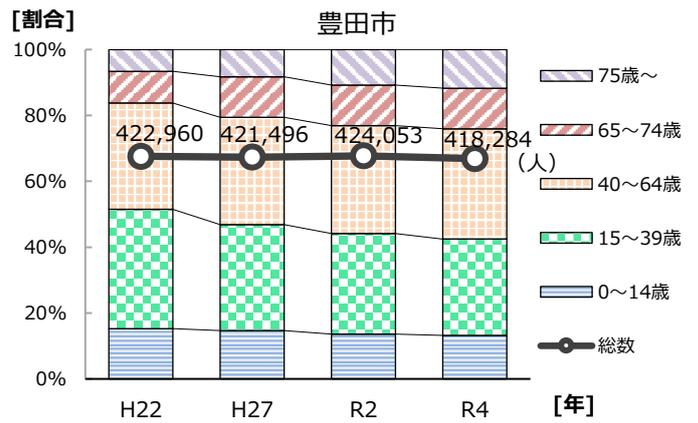
# 浄水中学校区 地域健康カルテ (令和4年度概要版)

## ● 豊田市の情報 ●

①男女別年齢階級別人口 (令和4年4月1日)



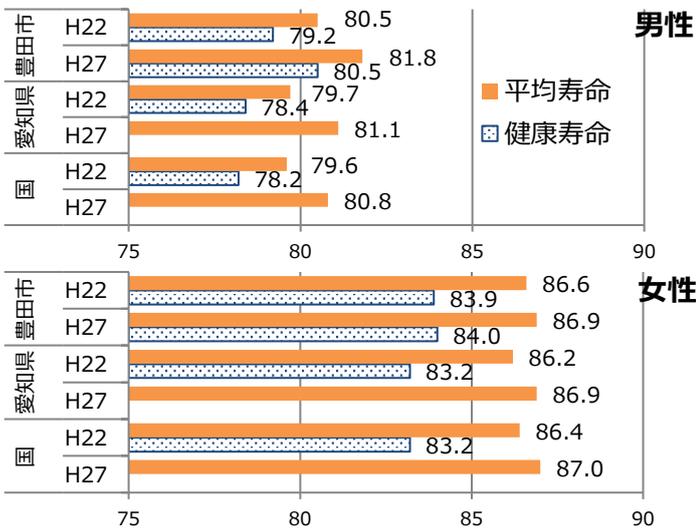
②人口推移 (各年4月1日)



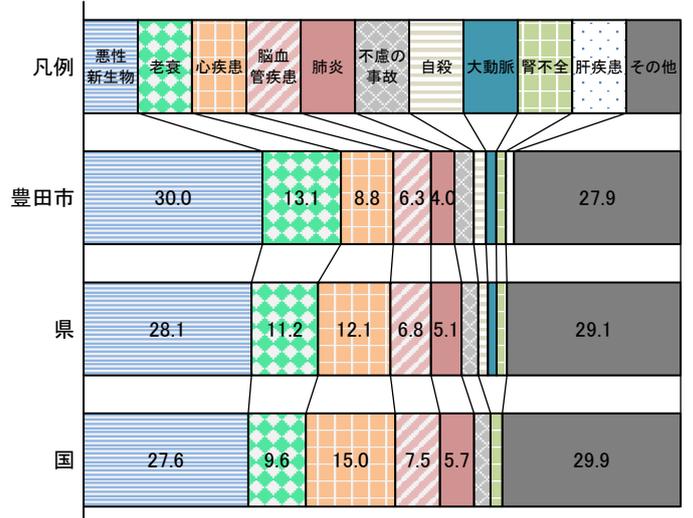
③人口構成 (令和4年4月1日)

・総人口：418,284人 (男性 217,427人、女性 200,857人) ・世帯数：183,262 ・高齢化率：24.0%  
 ・要介護認定率：15.4% (令和4年10月1日) ・外国人：17,540人 (ブラジル、ベトナム、中国他)

④平均寿命と健康寿命

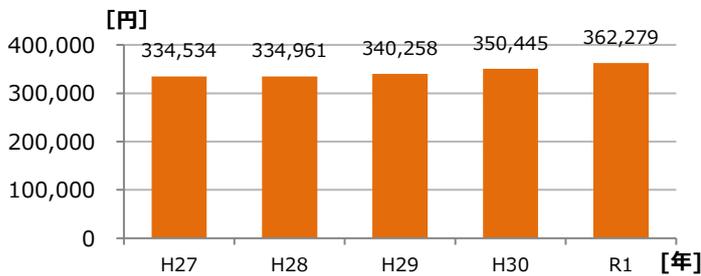


⑤主要死因別順位 (令和2年度)

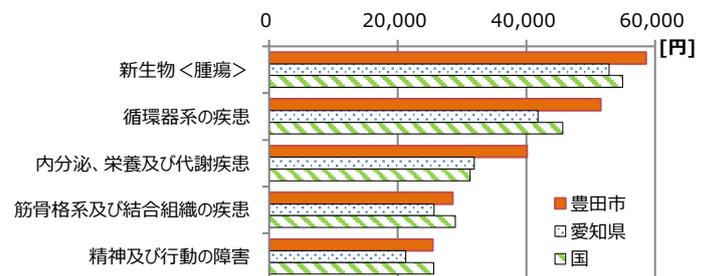


### 国民健康保険 医療費データ

⑥一人当たり医療費 (豊田市)

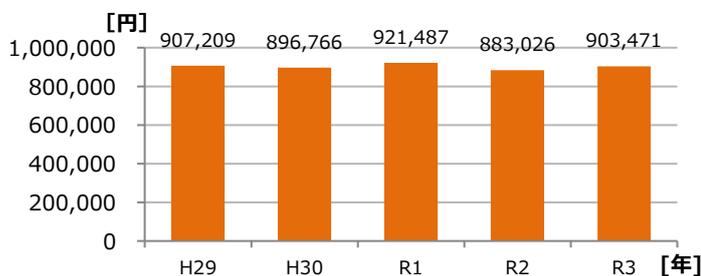


⑦一人当たり医療費疾病別上位5位 (令和3年度)

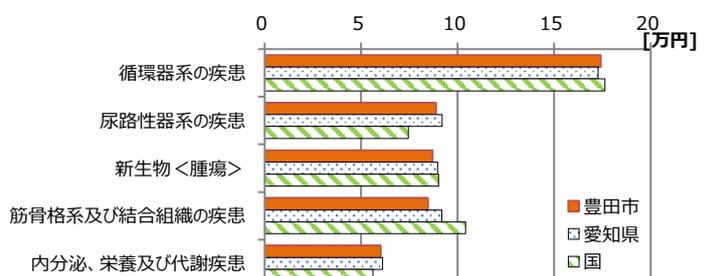


### 後期高齢者医療制度 医療費データ

⑧一人当たり医療費 (豊田市)

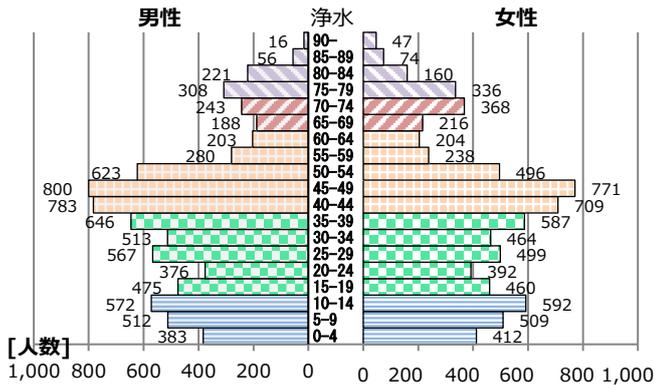


⑨一人当たり医療費疾病別上位5位 (令和3年度)

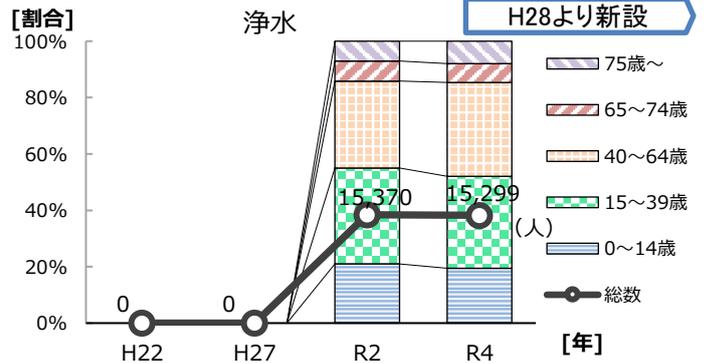


# ● 浄水地区の情報 ●

⑩男女別年齢階級別人口 (令和4年4月1日)



⑪人口推移 (各年4月1日)



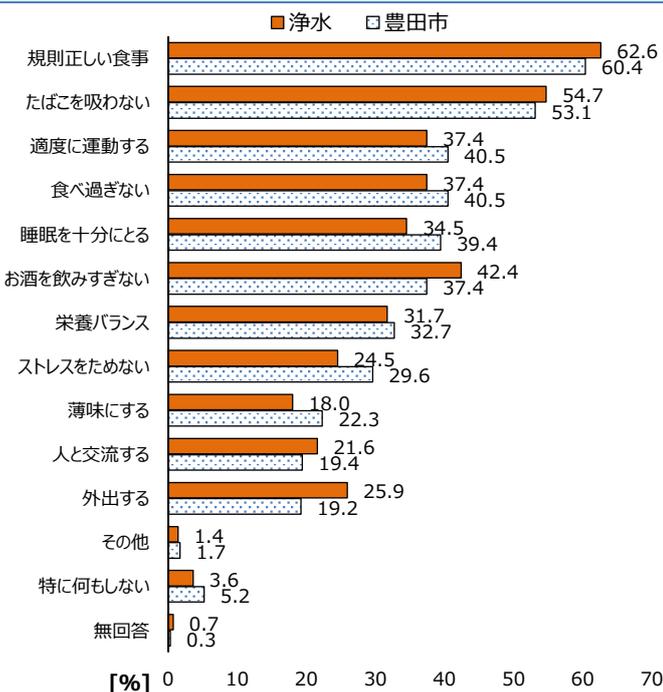
・総人口：15,299人（男性7,765人、女性7,534人） ・世帯数：6,537 ・高齢化率：14.6%  
 ・要介護認定率：14.9%（令和4年10月1日） ・外国人：497人

⑫地域の組織やその活動 ※新型コロナウイルスの影響で、一部中止の事業もあります

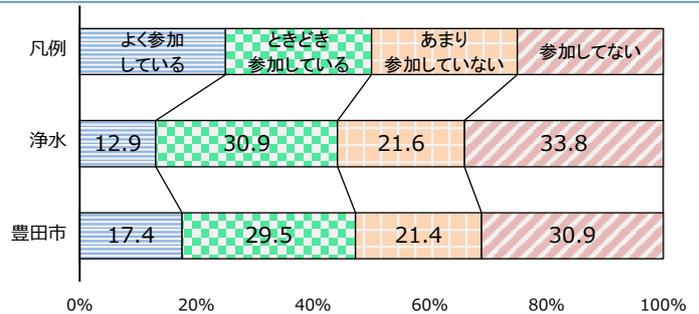
名称	内容等 (令和4年4月)
自治区数	・5自治区
地域課題解決事業	・浄水多世代交流事業(自治振興)、防災力の高い安全安心なまちづくり事業(防災対策)
交流館	・自主グループ26グループ（うち健康・スポーツは6グループ）
ヘルスサポートリーダー	・会員数6人 コミュニティ会議の委員となっているため、コミュニティ会議の事業との共催多数 ・夏休みラジオ体操、まごころウオーケラリー、まごころフェスタ出展等で健康啓発等を実施
高齢者クラブ	・5クラブ
ふれあいサロン	・2サロン
元気アップ教室 自主グループ	
その他	・平成29年度コミュニティ会議と共催で「浄水地区健康づくり計画」を作成し、平成30年度から、コミュニティ会議、自治区等にて健康づくりの取組を展開している。 ・元気アップ教室 浄水自治区（R4年度）開催し、自主グループ化している。

## 市民意識調査(令和3年度)

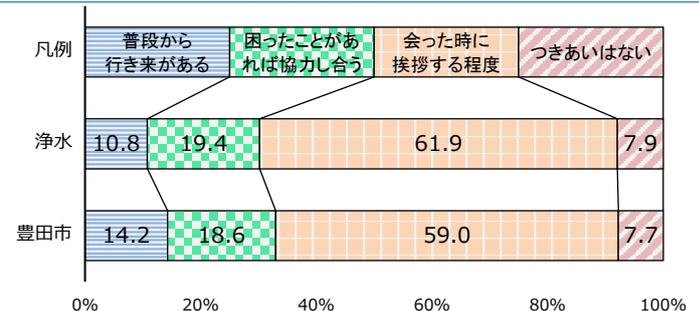
⑬健康づくりの取組内容



⑭自治区・地域活動への参加状況

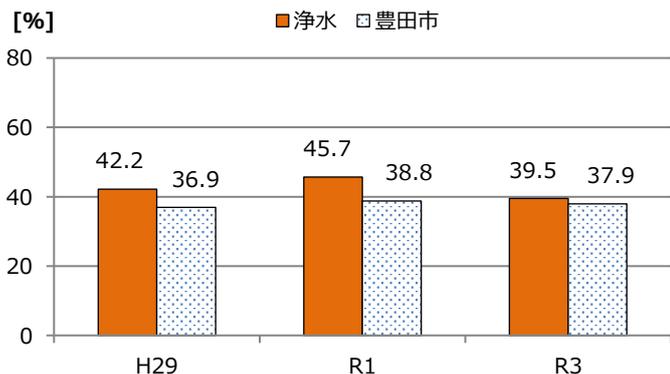


⑮実際の近所づきあい

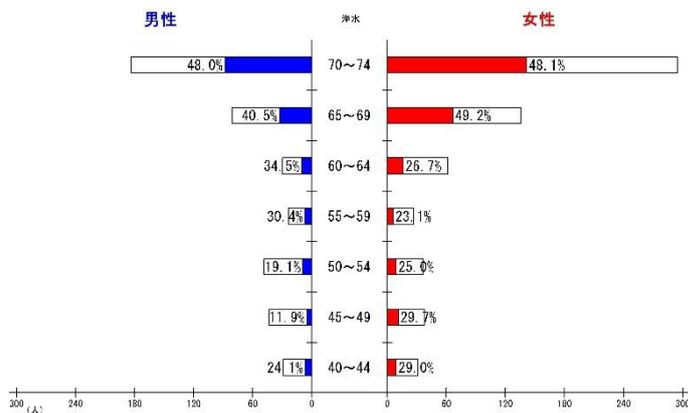


# 豊田市国民健康保険 特定健康診査(令和3年度)

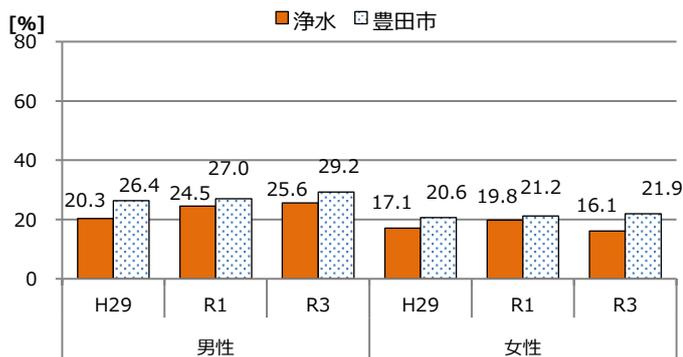
## ⑯ 健診受診率



## ⑰ 年齢別受診者数(対象者数 1,037 人,受診者数 410 人)

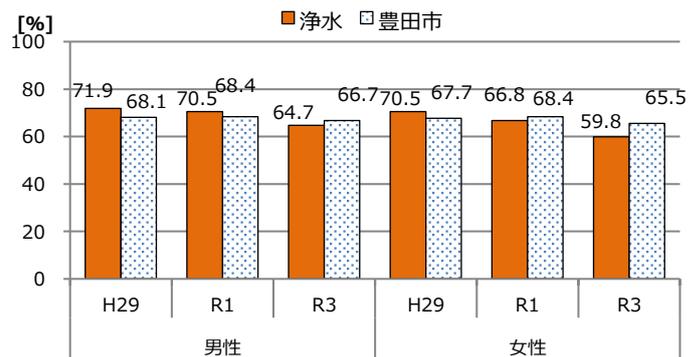


## ⑱ BMI (25 以上)

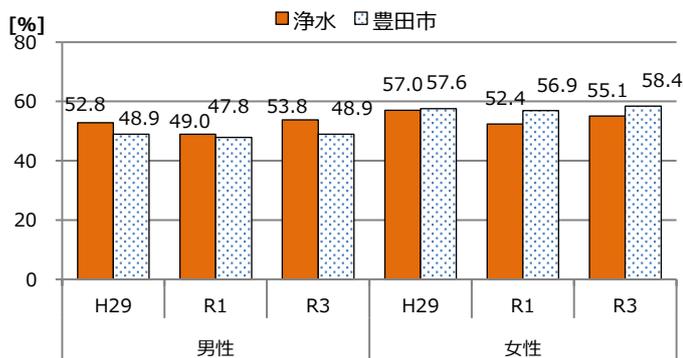


## ⑲ HbA1c (5.6%以上)

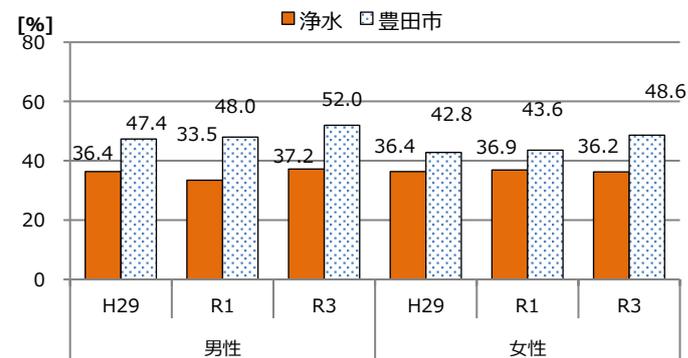
\* 糖尿病の指標の検査項目



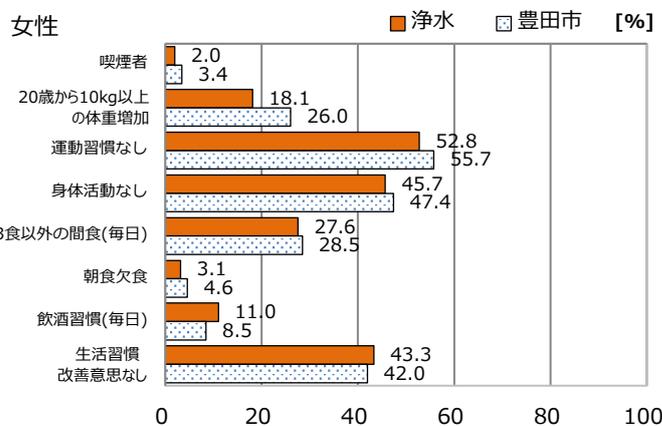
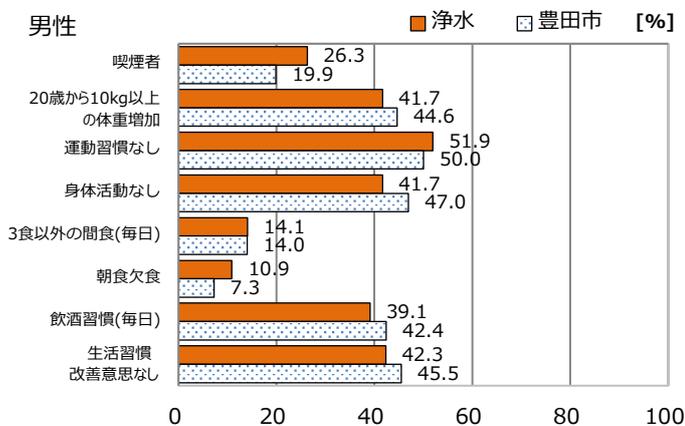
## ⑳ LDL コレステロール (120mg/dl 以上)



## ㉑ 収縮期血圧 (130mmHg 以上)



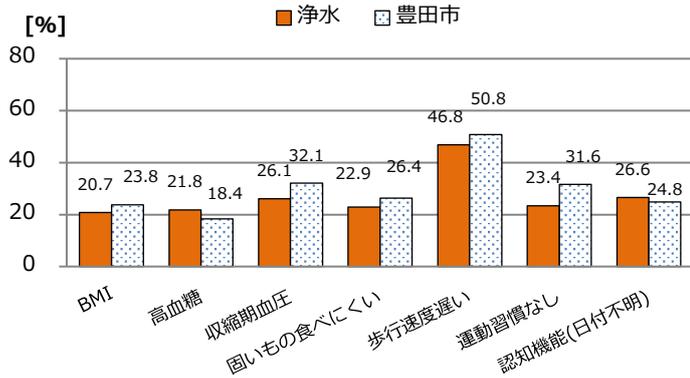
## ㉒ 問診



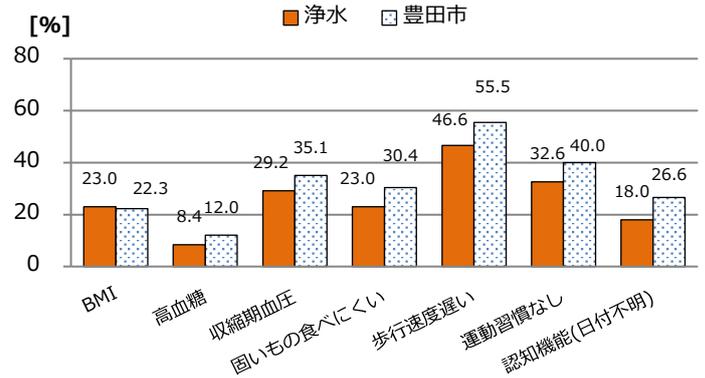
## ㉓ 国と比較して有意に差がある項目 [年齢調整]

国と比べ高い項目	男性	生活習慣改善意思なし
	女性	生活習慣改善意思なし
国と比べ低い項目	男性	収縮期血圧
	女性	収縮期血圧、喫煙、20歳から10kg以上体重増加、朝食欠食

㊸男性



㊹女性



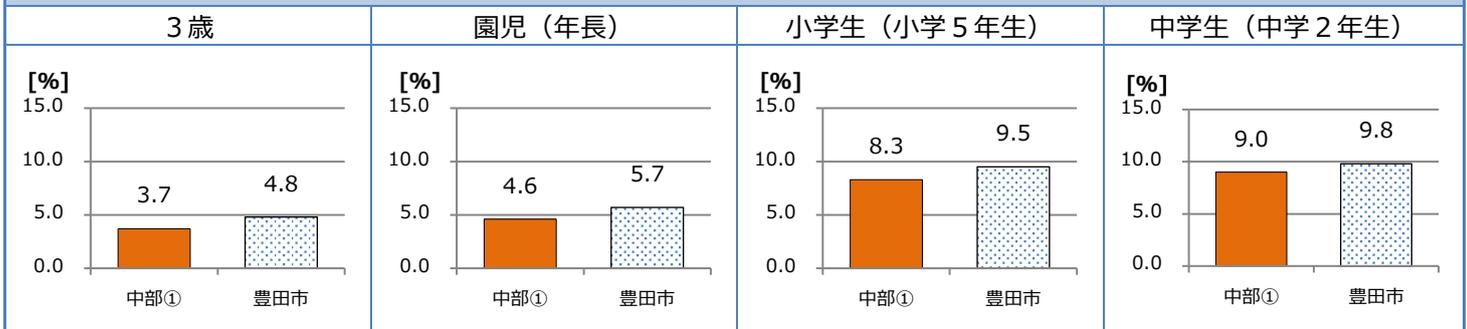
【検査項目の基準】 BMI : 25 以上 高血糖 : HbA1c 6.5%以上 収縮期血圧 : 140mmHg 以上

【地区の受診者数】 366 人(男性 188 人、女性 178 人)

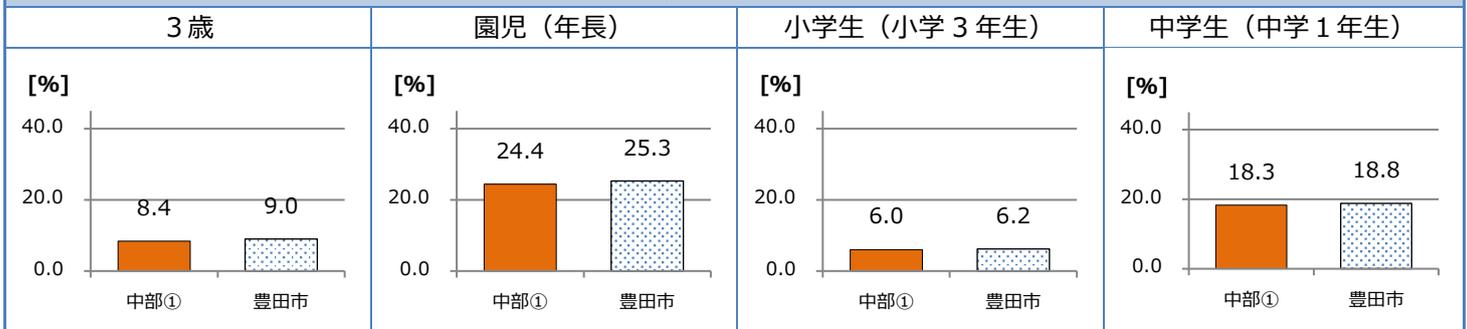
子ども 健康診査(令和3年度)

【中部①】 逢妻・朝日丘・梅坪台・浄水・崇化館・豊南

㊸肥満者率



㊹う歯有者率



データから見る地区の特徴と課題

- ・国民健康保険特定健康診査の受診率は市より高いが、R元年度から6%減少した。引き続き健診受診の意識付けや健康管理への動機づけ等、受診率向上に向けた取組が必要である。
- ・国民健康保険特定健康診査の結果では、男女とも収縮期血圧が国及び市と比べて低い。問診項目では男女ともに「生活習慣改善意思なし」の該当者割合が国と比べて高い。男性では、「喫煙者」「運動習慣なし」の該当者割合が、女性では、「飲酒習慣(毎日)」が市と比べて高い。これらのことから、糖尿病予防のためにも食生活の見直しや、適度な運動をする等の生活習慣改善の取組を、新しい生活様式を踏まえながら啓発していく必要がある。
- ・高齢化率は、市より低い。しかし今後人口構成から、30年後には一気に高齢者が増加することが予測されるため、働き盛り世代に対しても先を見据えた健康づくりの取組が必要である。
- ・市民意識調査における「実際の近所づきあい」からは地域のつながりの希薄さが伺える。平成29年度に作成した「浄水地区健康づくり計画」に基づき、多世代を巻き込んだ地域ぐるみでの健康づくりの輪を広げ、継続して事業を実施していくことが重要である。